



Rev.202001

[ルルド®] Lourdes

High Concentration Hydrogen Water Generator

取扱説明書 HS-72

このたびは、ビクトリージャパン株式会社の
「高濃度水素水生成器 ルルド®」をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



高濃度水素水生成器

1 使用する前に

安全な使用のため 1・2

2 使用する時に

各部の名称 3

使用前の準備 4

高濃度水素水の作り方 5・6

電解水補給時期について 6

ポットの取扱いについて 7・8

移動する場合 9

カートリッジ・保水パッドの交換 10

故障かな? サービスを依頼する前に次の点をご確認ください — 10・11

3 付 録

無償修理基準・保守部品について 12

製品規格書 13

- まず“安全な使用のため”の項目をお読みになって使用してください。
- 使用説明書に載っているイラストは実物と異なる可能性があります。
- 製品の性能改善のため実際製品は使用説明書の内容と一部違う可能性があり、事前の予告なしに変更される場合があります。

※この取扱説明書はHS-72専用です。ご利用の型番をご確認ください。

1 使用する前に

安全な使用のため

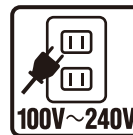


安全警告

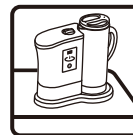
指示事項に従わない場合、
使用者に死亡や重傷の恐れがあります。



製品使用中、騒音・匂いなどの異常現象が発生した際には
すぐ作動を停止し、電源コードをコンセントから外してください。
この場合には販売店までご連絡をお願い致します。
※感電・火災の恐れがあります。



電源アダプターは交流100～240V範囲の電源コンセントに
繋がます。電源アダプターのプラグはコンセントの形と同じ
物で使用してください。
※感電・火災・漏電の恐れがあります。



水平な場所に製品を設置してください。室外では使用しない
でください。
※漏水の場合、感電・火災・漏電の恐れがあります。



製品を任意に分解・修理・改造しないでください。火災や感電
の恐れがあります。修理が必要な場合は、販売店までご連絡
をお願い致します。
※感電・火災の恐れがあります。



電源線を熱い物や鋭い物と接触させないようにご注意ください。
※感電・火災の恐れがあります。



安全注意

指示事項に従わない場合、使用者の負傷と資産への被害が発生する場合があります。



製品のポットや本体の水槽には常温の水道水、市販のミネラルウォーター、浄水以外は使用しないでください。

※製品故障の原因となるため、使用できない水の例
硬度120mg/L以上の飲用水(硬水)と呼ばれるものなど



電源アダプターの電源線が足等に引っ掛らないよう設置してください。

※怪我や感電、製品故障等の恐れがあります。



電源アダプターはこの製品に含まれている専用アダプター以外使用しないでください。長時間使用しない場合はコンセントから外してください。

※感電・火災の恐れがあり、製品故障の原因となります。



ポットには常に1/3位の水を満たしてください。

※本製品の水素水生成機能を維持するために行ってください。



必ず電源プラグを外してから掃除をしてください。また、水やベンゾール、アルコール、シンナー等を利用して掃除しないでください。

※感電・火災の恐れがあり、製品故障の原因となります。



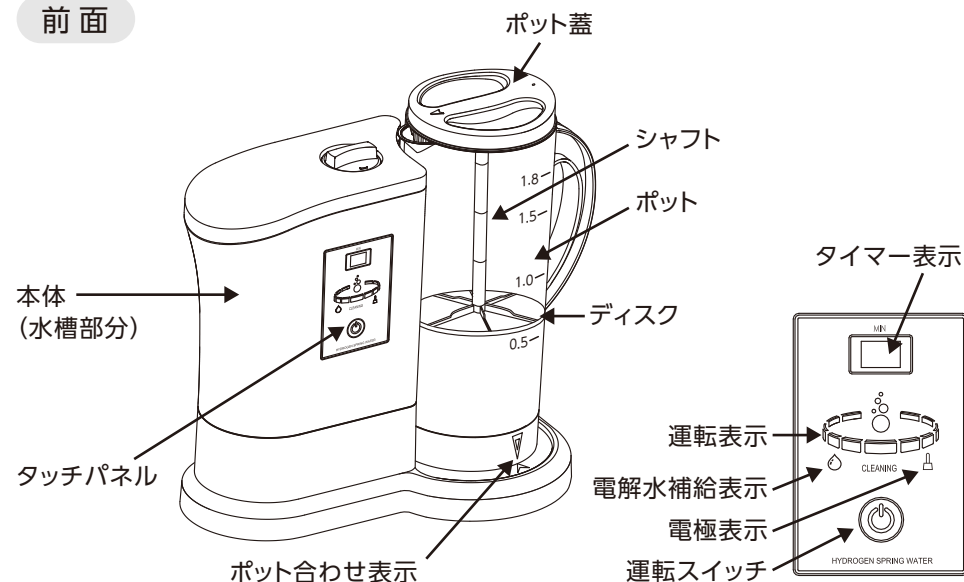
極端に高温の場所や火気のある場所での使用はしないでください。

※感電・火災の恐れがあり、製品故障の原因となります。

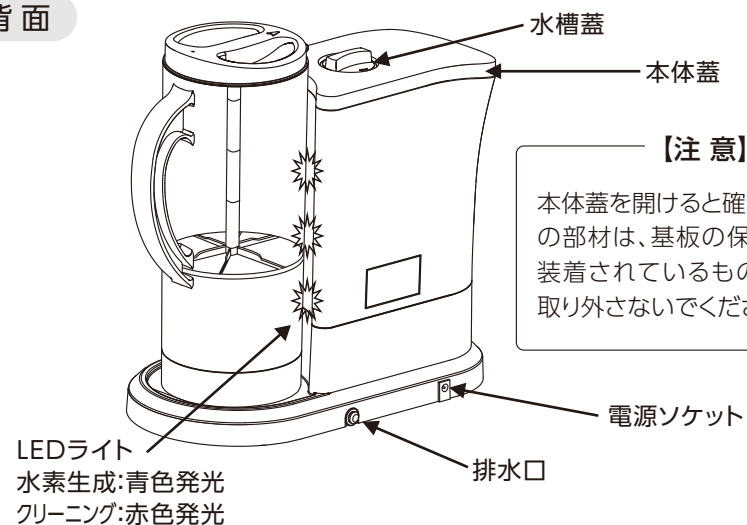
2 使用する時に

各部の名称

前面



背面



【注意】

本体蓋を開けると確認できるL字の部材は、基板の保護のために装着されているものですので、取り外さないでください

使用前の準備

- 1 製品を水平な場所に設置します。



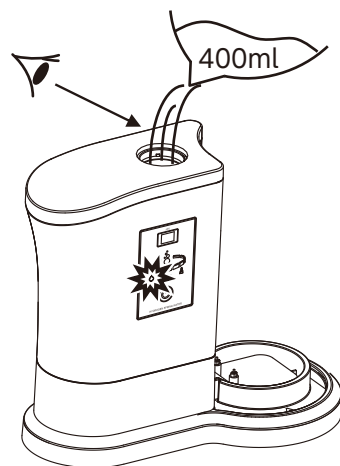
水平でない場所に設置をした場合、故障の原因となります。
ポットに水が入っていない状態では、ポットが浮いている場合がありますが、不具合ではございません。

- 2 水槽蓋を左方向に回して開けます。
浄水^{注1}(約400ml)を、内部のフローターがストッパー^{注2}に当たるまでゆっくり注ぎます。
(水槽に入れる水は電気分解用であり、飲用ではありません)
水槽蓋の溝とワンタッチカートリッジの取手を合わせ、右方向に回して閉めます。

注 1: 浄水とは…飲用に適した水または、水道水

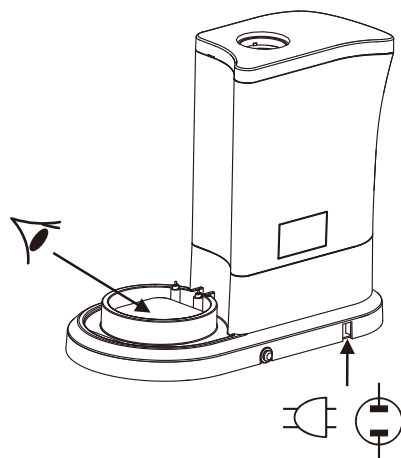
注 2: P10「カートリッジ・保水パッドの交換」の図参照

※ 電解水補給表示が点灯した時(P06参照)



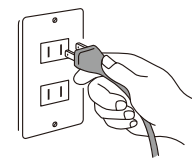
- 3 ポット設置場所の、保水パッドの上面まで水につかっていることを確認します。

- 4 電源アダプターの出力端子を本体裏側の下部にあるソケットに繋ぎ、電源アダプターのプラグをコンセントに繋げます。



高濃度水素水の作り方

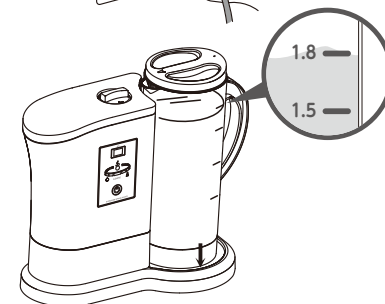
- 1 電源プラグを家庭用コンセントに繋げます。
本製品は100～240Vの電源まで使用可能です。



- 2 ポットに常温の水道水、市販のミネラルウォーター^{※2}、又は浄水^{※2}を適量まで注いで本体にセットします。

※2: 水温5～40℃以内で、硬度120mg/L未満の飲用水

ポットの最大容量は1800mlです。

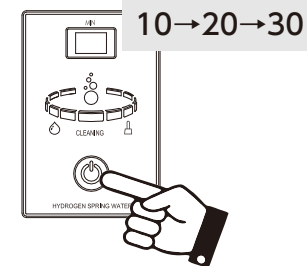


ポット下部の三角マークと、本体の三角マークを合わせれば簡単にセットしていただけます。

- 3 運転スイッチを軽くタッチして希望の運転時間にセットすると青いランプが点灯します。

運転時間はタッチする度に10分→20分→30分→10分と変わります。

30分の水素水生成で、溶存水素濃度0.8～1.2ppmとなります。



運転時間による溶存水素濃度値

(当社調べ)*1

運転時間	10分	20分	30分
溶存水素濃度(ppm)	0.3～0.4	0.5～0.7	0.8～1.2

経過時間による溶存水素変化率

(当社調べ)*2

経過時間	12時間後	24時間後
溶存水素濃度の変化	80～90%	60～80%

□運転を中止する場合は運転スイッチを1秒間以上タッチしてください。
運転スイッチは電源アダプターを外すと消灯します。

□初期使用時は水素気泡のサイズが不均等に発生しますが、
しばらく使用するうちに均等な気泡が発生するようになります。

□水素水生成中に発生する音に関して(音の大小があります)ポット底
の電解セルに水素の気泡が溜まり、はじける音が聞こえることがあり
ますが、異常ではなく水素水生成に問題ありません。

4 セットされた時間の運転が完了する
と、アラームが鳴り水素水生成が終
了します。

ポットを本体から取り外し、完成され
た水素水をコップに注いで飲みます。



□運転途中でポットを取り外すと、運転を停止します。再開する場合は
運転スイッチを押してください。

□運転が完了した状態からポットを取り外さない場合、水素水の濃度を
維持するためポットを照らす青いランプは消えずに微量の水素が続
けて生成されます。

□完成した水素水は別の容器に注いで常温や冷蔵保管が可能です。
その際、密閉できる容器に空気が残らない程度に満杯にすると、更に
濃度の維持が保てます。24時間以内であれば、溶存水素を維持した
状態で飲みいただけます。

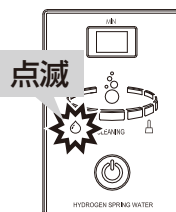
電解水補給時期について

●水槽に注いだ電気分解用の水は約2～4ヶ月で無くなります。

1 水槽に浄水が無くなると、タッチパネルの表示部の
電解水補給表示が点滅し作動しません。

“使用前の準備”同様に水槽蓋を開け水槽に浄水を
注いでください。

□補給量の目安は300cc程度、フローターがストッ
パーに当たる位置まで注ぎ入れてください。
(P10図参照)



□水槽内の水量を間違いなく管理して下さい。入れ過ぎた場合は、基盤
に水が掛かり、故障の原因になります。

□水槽に注いだ水は電気分解用の水です。ポット内の飲用水には全く
混ざりません。

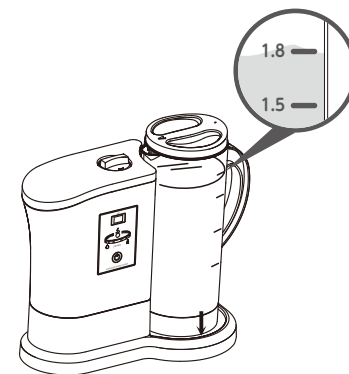
ポットの取扱いについて

1 洗浄

1 クリーニングモードにすると、ポット内の
洗浄をすることができます。

**洗浄は電解セルの性能を維持させる
ために毎週2～3回実施してください!**

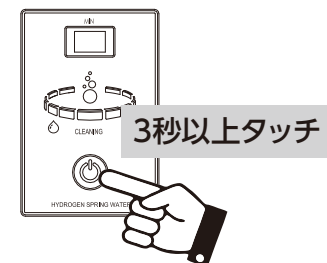
ポットに水を1800mlまで注いで、
本体にセットします。



2 運転スイッチを3秒間以上タッチすると、
タッチパネルのCLEANING表示が点滅し、クリーニングモードになります。

クリーニングモードではデジタル数字は
自動で15分にセットされます。

ランプが赤く光り、ポット内部に気泡が発生
します。



3 15分後、アラームが鳴りクリーニング
モードが終了します。

ポットを本体から取り外し、ポット内の水を
捨ててください。(飲用しないで下さい)



浄水にカルシウム、マグネシウム等のミネラル分を含む物
質が溶けている場合クリーニングモード終了後に白い沈殿
物が発生する場合があります。(故障ではありませんが浄水
の硬度をご確認ください、硬度が高い可能性があります。)

□クリーニングモード終了後、ポットの蓋を開けると独特な匂いがすることがありますが、すぐ消えますのでご安心ください。人体には無害です。



【衛生的にご使用いただくために】

ポット内側は定期的に洗浄して下さい。その際、洗剤は使わずに柔らかいスポンジ等でなでる様に側面、底面を水洗いして下さい。

ポット外側は水がかからないようにして、除菌ティッシュ等で拭く程度にして下さい。

※内側底面の電解セルカバーは外さないで下さい。

【電解セル結晶予防のすすめ】

ポットに浄水100～200ccとクエン酸小さじ一杯を入れ、1～3時間漬け置きしていただくと電解セルに白い結晶が付着することを予防できます。

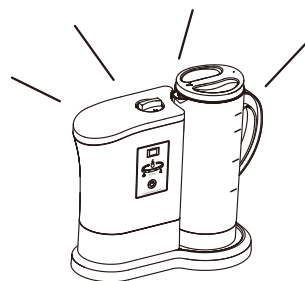
漬け置き後は、一旦ポット内の水を捨て、数回すすいでからご使用下さい。(月に2～3回程度)

2 日頃のお手入れ

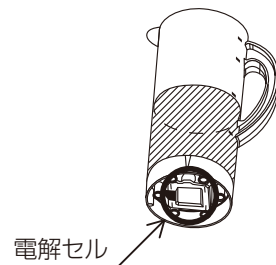
- 1** 製品の外側は柔らかい布巾等で掃除してください。

特にポット設置場所の回りは水垢ができないよう管理ください。

※保水パッドは汚れたら水洗して下さい。



- 2** 本体保水パッドは電解水に浸かった状態で、ポットは常に1/3位の水を入れ、電解セルが水に浸かっている状態を維持して下さい。



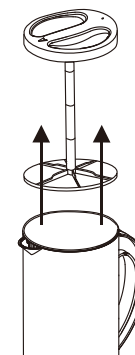
3 フタ・シャフト

ポットのフタは、内部のシャフトと繋がっていますので、フタを開ける時は**ポットに対して真上に引き抜くように**開けてください。セット時はフタの三角マークをポットの注ぎ口に合わせてセットして下さい。



無理にフタを取ろうとするとシャフトが折れて、製品破損の原因となります。

※シャフト付根部分は非常に弱く、取扱いに注意して下さい。

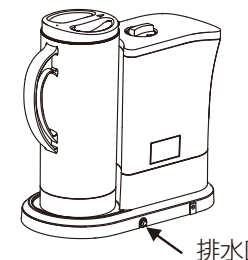


移動する場合

- 1** 製品を移動する場合や保管する時は、水槽とポット設置場所にある水を全部抜き出してください。製品の背面にある排水口のキャップを外すと水が抜けます。



水を抜いた後は必ず排水口のキャップを閉めてください。



- 2** 次に、本体を少し傾け、保水パッド部分からも完全に水を抜きます。

※保水パッド用に溜まった水が、本体から出てきます。

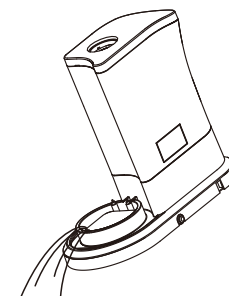
※基盤に水が掛かる恐れがあるので決して本体を逆さないで下さい。

- 3** ポット内の水を捨て、ポットと本体を乾いた布巾でふきます。

- 4** 直射日光を避け、清潔な場所に移動してください。

※ご旅行等で1ヶ月以上使用されない場合も同様に1～4を行って下さい。

- 5** 使用を再開する場合は、P04使用前の準備に従って準備し、ポットに40℃程度のぬるま湯を1/3ほど入れ本体にセットして、1時間程度放置した後クリーニングモードを行ってから、水素水生成を開始して下さい。



カートリッジ・保水パッドの交換

9ヶ月ごとに水槽内に設置されている専用カートリッジを交換してください。



専用カートリッジを交換しない場合、電子部品の故障の原因となります。

1 水槽蓋を左方向に回して開け、T字のバーに指をかけて古いカートリッジを真上に引き抜きます。

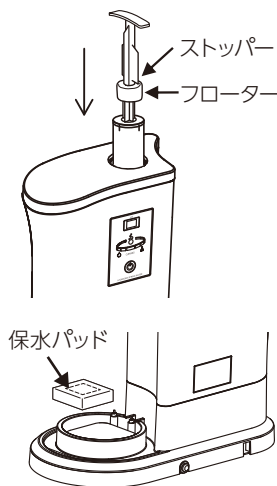
2 新しいカートリッジをしっかりと奥まで差込みます。

3 保水パッドが汚れてきた時は繊維が縮まないよう絞らず水洗い、または新品と交換してください。

※保水パッドは消耗品です。厚みが13mm以下になった場合は本品を購入した取扱店にお問い合わせ下さい。

※保水パッドは切れ込みがありますが、取り外さずそのままお使い下さい。

※使用開始直後にまれに茶色い水が出ている、もしくは保水パッドが茶色くなる場合がございますがカートリッジの素材ですので、本体から排水していただき、本体水槽の水を入替えてください。また保水パッドは洗って再び使用してください。



故障かな？サービスを依頼する前に次の点をご確認ください

はじめに

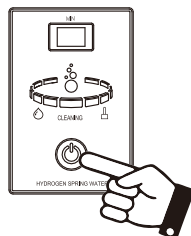
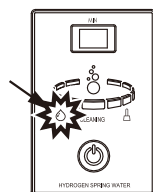
- ① 本体水槽に浄水が入っているかご確認ください
- ② 電源アダプターが本体及びコンセントに挿し込まれていることをご確認ください

1 タッチパネルの電解水補給表示が点滅し、作動しない場合。

- 水槽に電気分解用の浄水がありません。
“使用前の準備”の指示に従って浄水を満たしてください。

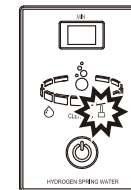
2 運転時間の調整が出来ない場合

- タッチパネルの運転スイッチは、押すのではなく軽くタッチしてください。
但し、運転停止の時は運転スイッチを長めに(1秒間以上)タッチしてください。



3 タッチパネルの電極表示が点滅している場合

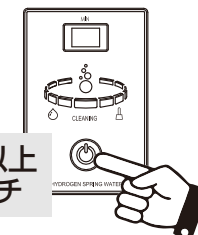
- ポット下部の電解セルが乾燥している可能性がありますのでポット下部の電解セルがぬれていることをご確認ください。
- 保水パッドの高さをご確認ください。保水パッドがセットされている枠の本体水位より1~2mmの高さが必要です。低い場合は保水パッドを交換してください。
- 長期間ポット内が乾燥していたり、ポット底面が水に浸かっていなかった場合は、ポットに40℃程度のぬるま湯を1/3ほど入れ、1時間程度本体にセットしておいて下さい。水素水生成機能が復活する可能性があります。
※40℃以上のお湯でポットに蓋をすると、ディスクが変形する恐れがあります。
- 上記対応後、点滅が解消されましたら一旦クリーニングモードを行ってから、水素水生成を開始してください。(P07をご参照ください。)
- ※電極表示が点滅していても、水素水・クリーニングモードの生成に影響はありません。



カートリッジ交換のお知らせランプではありません

4 クリーニングモードの運転が出来ない場合

- 通常運転中はクリーニングモードにはなりません。
運転スイッチを1秒間以上タッチし、運転を停止した後、運転スイッチを3秒間以上タッチしてください。



5 ポット内部のディスクが浮かばない場合

- ポットの注ぎ口と蓋の矢印が一致していない事が考えられます。蓋をしっかりと閉めてポットを揺らし、ディスクが自由に動くよう調節してください。ディスクやシャフトが斜めになっている場合がありますが、水素水生成には影響はございません。
※シャフト付根部分は非常に弱く、取扱いに注意して下さい。



6 ポットを持ち上げた時に、生臭い匂いがする場合

- ポットの下部で電気分解時に生成された溶存オゾンです。微量であり人体に害はないのでご安心ください。



これ以外の故障現象が発生した場合、販売店までご連絡ください。

3 付 録

無償修理基準・保守部品について

1 保証期間中に使用説明書や本製品の添付案内書等の注意内容や案内内容に従った正常な使用状態で本製品が故障を起した場合、当社指定方法によって無償修理が出来ます。

この場合、製品説明書の最後のページにある製品保証書の提示をお願いいたします。また、修理のため交換された部品や機器の一部は返品出来ません。

2 無償修理保証期間は購入日から12ヶ月です。

購入日が不明な場合、メーカー規定により製造日から14ヶ月を無償修理保証期間として算定します。

3 保証期間中であっても、次のような場合は有償修理となります。

- 1) 製品保証書がお客様から提示出来ない場合。
- 2) 製品保証書に顧客名、購入日、販売代理店が記入されていない場合や記入内容が変更されている場合。
- 3) 使用上の誤りや改造による故障、破損の場合。
- 4) 火災・地震・水害・雷光・天災地変・公害・塩害・ガス害・異常電圧や指定外の電源使用による故障や破損の場合。
- 5) 保水パッド・カートリッジ等の消耗品部品の場合。
- 6) 付属品の場合。(ACアダプター・ポットフタ)
- 7) お客様の過失や保管上の不注意による破損や障害。
- 8) 当社サービス以外での修理・改造・分解により生じた障害。
- 9) 購入後運送や移動等の際、適切では無い方法で発生した故障や障害の場合。
- 10) 譲渡・転売・中古販売・オークション等で購入された場合。

4 この製品の補修用性能部品(※製品の機能を維持するための部品)を、製造打切り後、5年間保証いたします。

製品規格書

項 目	仕 様
ポ ッ ト 容 量	最大1800ml
溶 存 水 素 濃 度	最大1.2ppm ^(注)
酸 化 還 元 電 位	最大-480mV
電 源	DC 24V-1A
消 費 電 力	最大24W
寸 法	316(W)×160(D)×270(H)
重 量	1800g

(注)水質・水温・室温などの条件により異なる場合があります。

(当社調べ)*1

原	水：精製水
容	量：1L
測 定 方 法	ポット内の水素水を測定用容器に移し半密閉状態とし測定電極を浸漬、磁気式液体攪拌器250rpmにて測定
測 定 装 置	共栄電子研究所製 ポーラロ式溶存水素濃度計 KM2100DH

(当社調べ)*2

原	水：浄水器で濾過した横浜市旭区水道水
容	量：1L
生成後の原水保管：500mlペットボトルに、2本に分け移し、冷蔵庫内保管(保管温度は5℃)	
測 定 方 法	保管したペットボトルの水素水を測定用容器に移し半密閉状態とし測定電極を浸漬、磁気式液体攪拌器250rpmにて測定
測 定 間 隔	12H、24H
測 定 装 置	共栄電子研究所製 ポーラロ式溶存水素濃度計 KM2100DH

ビクトリージャパン株式会社

〒462-0844 愛知県名古屋市中区清水1-3-1 TEL/052-971-0555

【ルルドカスタマーセンター】 フリーダイヤル/0120-18-3588